

伯耆大山北壁～八合尾根～

【報告者】I 富

【日時】2017年4月1日～2日 【天候】曇～晴

【参加者】CL: I 富、K 崎、F 谷、S 上

3/31 21:30 福岡発～中国道～松江自動車道～山陰道～米子東 IC～26:40 コンビニ仮眠

4/1 5:00 起床 6:00 大山寺駐車場 準備 7:20 元谷小屋 荷物デポ～8:40 八合尾根取付き
～13:30 夏道合流～15:00 元谷小屋 泊

4/2 4:00 起床 5:30 出発～別山バットレス取付き 敗退～下山後帰福

《 報告 》

今シーズンの雪山は、年末に骨折したために全く取り組めなかった。2 月終わりに完治したので、雪山に行く機会を伺いつつトレーニングを再開し、西日本ではギリギリの 4 月頭に（自分にとっては）今シーズン最初で最後の伯耆大山の北壁をやることにした。

大山の 3 月末～4 月頭は年によっては、雪が無いことも多く、心配していたが 3 月中頃に日本海側に大量降雪があったおかげか、そこそこ雪が残っており、問題なくルートに取り付けそうだ。

大山寺の駐車場に車を止め（スキー場が close なので無料！）準備を整え、元谷小屋へ向かう。

大山寺近辺は観光客でそこそこの賑わいだ。

元谷小屋へ宿泊装備・晩ご飯等をデポし八合尾根へ向け出発する。

八合尾根末端は雪の付きが微妙で、左の別山沢を少し逆行し尾根へ上がりこめそうな場所から取付く。が、雪が締まり過ぎとかほぼ氷で、蹴り込んでもつま先しか入らない。。その上、尾根までは 70～80m くらいはありそう。久しぶりの登攀でふくらはぎがパンプしそうだ。こんだだけ長くて悪ければロープ出せばよかったと急な雪壁の途中で後悔しても後の祭り。

とにかく尾根に上り込むまで頑張って登る。（1 P フリーソロ）

2 P（50m） 尾根に上がり込みセルフビレイを取り、ロープを出す。雪の状態が思った

より悪いのでこのピッチからスタカットで進むことにする。尾根状を進みロープいっぱい
でピッチを切る。

3 P (50m) 2 Pと同じく尾根状を進む。立木を回り込むためロープの流れが悪い。

4 P (30m) 5 Pの核心の岩壁手前でピッチを切る。ナイフリッジは通らず下側をトラバ
ースした。

5 P (45m) ここが核心。大山といえば浮石だらけのボロボロの岩壁を直登するか、沢を
トラバースし岸壁の右から巻くかの選択を迫られる。F谷・S上ペアは岩壁直登を選択。ボ
ロボロと細かい石を落としながら登って行く。さすがF谷、アルパインクライマー！私ら
I富・K崎ペアは迂回させていただきました。

6 P (30m) 核心後、短い馬の背状のリッジを通過すれば広尾根となる。コンテに切り替
えて夏道の合流地点まで進む

13:40 夏道八合付近着 約5時間のクライミングでした。

弥山には向かわず、とっとと元谷に下山して宴会スタート。寝不足のため早々に撃沈。

翌日は別山バットレス中央稜の予定であったが、I富が風邪っぴきとなり、発熱の為ルート
取り付き地点で敗退となった。一緒に行った皆様すいませんでした。来シーズンは必ずリ
ベンジします。

で、大山で敗退したら海鮮丼！というわけで 転んでもただでは帰らぬピナクル魂
定番の山芳亭で海鮮丼をいただいて帰ってきました

<https://retty.me/area/PRE31/ARE288/SUB28801/100000861386/>



【F 谷感想】

今シーズン最後の大山で、トレースのない八合尾根を登れてよかったです。

核心部のナイフリッジからトラバースに移るところで時間かかりました。トラバースし始めたら何てこと難易度でした。反省です。

その次の岩場では、まかずに登ったら脆いうえにランナーが取れず、登った事を後悔。S上さんにも脆い岩場を登らせることになり申し訳なかったです。

元谷小屋は、LED ライトとラジオが新たに備え付けられてました。更なる設備拡張に期待（水洗トイレとか（笑））。